

第2回 国際学術シンポジウム

稲作はこうして始まった！

魚と人の出会いから

日時:2013年3月2日(土)・3日(日)

会場:岡山理科大学 50周年記念館 会議室



コイ科魚類が豊かな東アジアで、魚類咽頭歯の研究が考古学にどのように役立つか。

漁撈と稲作の関係を解明するため、魚類学と考古学とが共同研究を通して探る。中国

の考古学者や魚類学者を招聘して、学際的研究の成果やおもしろさを、学生や市民に

知ってもらうために公開シンポジウムを開催する。

2013年3月2日(土) 10:00~16:50

中島経夫(岡山理科大学):趣旨説明

小柳美樹(金沢大学):中国新石器時代における稲作の展開

中島経夫(岡山理科大学):漁撈と稲作の関係

張 居中(中国科学技術大学):賈湖遺跡の漁撈文化

楨林啓介(愛媛大学):中国先史における漁撈具からみた漁撈と農耕文化

袁 靖(中国社会科学院考古研究所):中国動物考古学における魚類咽頭歯研究の評価

2013年3月3日(日) 9:00 ~16:00

莫 林恒(湖南省文物考古研究所):高廟遺跡出土魚骨の研究

呂 鵬(中国社会科学院考古研究所):先史中国における貝塚遺跡の研究

何 瞬平(中国科学院水生生物研究所):魚類学は、考古学にどんな役に立つか？

李 志鵬(中国社会科学院考古研究所):殷墟出土の動物遺存体からみた家畜化

討 論 コメンテーター 菊地大樹(奈良文化財研究所)

申込み不要・入場無料

主催: 基盤研究B「水辺エコトーンにおける魚と人:稲作起源論への新しい方法」(代表 中島経夫(岡山理科大学))

連絡先: Email: ecotone2013@gmail.com

なお、1日目終了後、懇親会があります。参加希望の方は、2月25日(月)までに、Emailにてご連絡ください。